

～『自ら考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★令和6年度 第2学年 修学旅行★

～修学旅行委員会による生徒主体の修学旅行の取組～



<修学旅行委員会が手がけたこと>

- 旅行のキャッチフレーズの作成
- 旅行通信（旅行だより）の作成
- 保護者説明会用のムービー1本の作成
- 旅行時の服装規定（私服）の決定
- 班別・クラス別コース、新幹線の座席、ホテルの部屋割り等の決定
- 旅行時の食事の詳細設定（自由昼食の決定、新幹線内のお弁当、ホテルの夕食のメニュー決め）
- 当初は予定になかったUSJを行程に入れる決定
- 旅行に関する学年集会の運営・司会進行
- 旅行に関する学年集会用のムービー2本の作成
- 修学旅行解団式での添乗員さん等への感謝の手紙作成

10/16水～10/19土にかけて、第2学年は修学旅行に行き先は『広島・大阪・京都』です！私は団長としてこの旅行に同行しましたが、『たいへんSAHらしい修学旅行』でしたので、いろいろとご紹介させていただきます！修学旅行委員会を中心に行った業務を左にあげてみました。私はこれまでに教師として修学旅行を何度も経験していますが、『初めて見た』ということがたくさん体験しました！そのなかのいくつかをご紹介します！

なかでも、『新幹線のなかで食べるお弁当選び』もさることながら『お弁当にお茶をつけない』という決定も旅行委員会で決定したとか。そのお金を他の行程で使うための工夫であり、各クラスでも合意をとったということも驚きです！また、USJに行くなら2日目の午後にしか入らず、『朝から1日行く』ことは不可能な状況でしたが、『行かない』『班別で選択可能』『クラス別で可能』『全クラスで行く』などの選択肢があるなかで、協議に協議を重ね、『全クラスで行く』ことになりました！この合意形成のおかげで『USJの時間が短い』といった不平の声はまったく聞こえてきませんでした！



その上、午前には『広島市の原爆ドーム・平和記念公園・平和記念資料館』を見学し、午後は『USJ』、その際の『服装』をどうするのか？ この合意形成も素晴らしかったです！『制服』なのか、『私服』なのか？着替える時間はないし、その時間を作るならUSJに充てるべき、など議論は深まりました！そして、どちらにもふさわしい『最適解（平和公園にもふさわしい色・デザインの私服）』を導き出したのですから！これも生徒たちが出した結論ですから不平の声は出ません！『自分事』って素晴らしい！



そして、高崎駅に到着したあとの『解団式』も圧巻でした！私には知られていなかったのが現場で見て、驚いたのですが、各クラスに同行していただいたそれぞれの『旅行会社の添乗員』さんと『看護師』さんお二人への『サプライズ』なお手紙の授与！自分たちが『お客さん』として参加したのではなく、『当事者意識』をもち『一緒に旅行を作り上げた仲間』として『感謝』を伝えたのでした！きっとみなさん、疲れも忘れるほど驚かれたのではないのでしょうか！そういった『大人』たちのウェルビーイングも高めてしまう前南生にびっくりでした！

また、修学旅行にはトラブルがつきものですが、USJ終了時の集合も『京都市内班別行動』終了時の集合も『遅刻』がなかったのです！その上、『服装指導』などの一切の『生活指導』がありませんでした！おかげさまで、団長としての仕事はほぼなく、『ただの旅行者』で終わった気がします笑 こんな修学旅行は初めてです！『当事者意識』をもち、『自分事化』すると生徒は行動に『責任』をもってくれます！『もう誰のせいにもしない』というキャッチフレーズそのままです！本当に頼もしい生徒、頼もしい2学年でした！来年度の修学旅行はどんなものになるのか今から楽しみです！1年生のみなさんへ、バトンは渡されました！みんなで考え、さらによい修学旅行を企画してくださいね！（文責：教頭 星野 亨）





初めて委員会があった日は4月の半ばでした。それから様々な準備を進めていたらもう当日。広島からスタートした修学旅行でしたが、その後大阪、京都をめぐり、あっという間に4日間がすぎてしまいました。ここまでの準備期間は当然楽なものではなかったし、短い期間で決めなければならないことが多く、しんどいなと感じることも多々ありました。ですが、委員会のみんが支え合い、助け合ったことでそんな困難も乗り越えることができ、結果として最高の修学旅行を作り上げることが出来ました。本当に委員のメンバーや手伝って下さった先生方には感謝しかありません。ありがとうございました。この委員会に入って、この仕事に携わることができて良かったです。そしてなにより、私たちが作り上げたこの修学旅行が、皆さんの最高の思い出になってくれたらすごく嬉しいです！ここまで本当にありがとうございました！

2年 修学旅行委員会委員長 志原 未来

私はこの修学旅行を通して「協力」「助け合い」することの大切さを学びました。服装を私服にするために様々なルールを決めるのに試行錯誤したり、スローガンのサブタイトルについてALTの先生と相談したりと大変なこともありましたが、それが全て完成した時の達成感はとても大きなものでした。修学旅行が成功するまでご協力してくださった先生方、生徒のみなさん本当にありがとうございました。

2年 修学旅行委員会副委員長 井野 友貴

高校生活最大の行事である修学旅行、本当に最高でした。初めての場所、慣れない環境で不安なこともありましたが、それを忘れるくらいこの3泊4日は充実したものになりました。写真でしか見たことがなかった場所に実際に行き、触れるのはとても新鮮でした。その場所でしか学ぶことの出来ない歴史や文化をたくさん学べたと思います。とても楽しかったです。

2年 長谷部 心優

私は旅行委員として2年生が始まってから何度も委員会を重ねて準備を進めてきました。最初はその頻度に慣れず、忙しい委員会に入ってしまったと思うこともありましたが、この第2学年の高校生活最大のイベントを自分たちの手で作っていけることを大変誇らしく思うようになりました。旅行当日はクラスや班で上手くいかないこともあったかもしれませんが、笑顔で溢れていて私たち旅行委員が望んでいたことを達成できて良かったです。

2年 星野 大翔

★学年修学旅行担当職員より★ 旅行委員長の志原さんをはじめとして、委員の皆さん、お疲れ様でした。以上の考察のとおり、今年度の修学旅行はとても充実しており、大成功と言えるでしょう。しかし、「修学旅行通信 ANNEX 旅人列伝」にも記したように、ここで学んだことが今後に活かされてゆくようであれば、せっかくの「修学」旅行も無意味になります。単なる「楽しかった思い出いっぱいのお観光旅行」で終わることなく、この旅行が良い意味で皆さんの成長に役立つものになるなら、そのとき本当の「大成功」と言えるのです。それもすべて、これからの皆さん次第、なのです。

長井 芳之

★2学年主任より★ 入学時から、「自ら考え、判断し、行動できる」前南生を楽しみにして毎日過ごしています。準備段階から旅行当日も、生徒の皆さん一人一人が他を思いやりながら自分事として責任ある言動をとる姿は、いつしかドキドキからワクワクに変わってきました。今回の修学旅行の経験を、ぜひ将来の自分に活かしてさらに活躍の場を広げ、また、これから出逢う人たちのために尽力できるように大いに期待しています。最後に、修学旅行の実施に際しまして、ご理解・ご協力いただいた保護者の皆様をはじめ、担当チームの長井先生、旅行委員さん、そして東武トップツアーズの皆様にも心より感謝いたします。

今井 宏子

★校長より★ 今回の修学旅行で修学旅行委員さんの活動として強く印象に残っているものとして保護者説明会の動画があります。自分達で検討しUSJに行くことを決定したことや、そのときの私服についてルールを話し合いで決めたこと等が説明されていました。このようなことを、自分たちで立案、検討し決定をしていくだけでも本当にたいへんなことですが、それを自分たちが出席できない保護者説明会で「動画」という手段を使って、とても分かりやすく説明してくれていました。とても驚き、感動しました。この一つ一つが今までの修学旅行では無かったことだと思います。自分たちで、考え、判断し、合意形成をして、さらにはそれを説明する。これからの時代の修学旅行はこうなっていくのだなと感じました。とても良い、「皆さんの修学旅行」でした。きっと良い思い出になったのではないかと思います。

校長 原 拓史